



## 平成26年度 研究テーマ

研究所では、東京都の施策の展開に必要な科学的知見の提供等を目的に、東京都からの委託に基づき、環境の改善・向上に資する幅広い調査研究を行っています。

平成26年度の主要な研究テーマは、以下のとおりです。

1	自動車の環境対策の評価に関する研究	最新の大型ディーゼル車、ガソリン車、ハイブリッド車等の排出ガス測定、分析などを行い、自動車の環境対策の効果等に関する研究を実施しています。
2	資源循環に関する研究・最終処分プロセスに関する技術開発	資源循環型社会を目指すため、ごみに含まれる金属資源の効果的なリサイクルシステムに係る研究や、ごみの最終処分工程における新たな窒素処理技術の開発に取り組んでいます。
3	微小粒子状物質の濃度低減等に関する研究	大気中の微小粒子状物質(PM <sub>2.5</sub> )の削減対策に資するため、PM <sub>2.5</sub> 中の有機粒子や硫酸塩、硝酸塩の発生源の解明、PM <sub>2.5</sub> よりさらに小さいナノ粒子のフィールド調査に取り組んでいます。
4	高濃度光化学オキシダントの低減対策に関する研究	光化学オキシダントの原因物質である揮発性有機化合物(VOC)について、大気中成分ごとのオキシダント生成に対する寄与割合の把握や、室内実験による光化学オキシダント生成機構の解明に取り組んでいます。
5	有害化学物質の分析法・環境実態の解明に関する研究	環境中に残留したり生物の体内に蓄積することが懸念される有害性の高い化学物質の分析法を検討します。また、それらの環境中の濃度を調査しています。
6	浅場・干潟等に形成される生態系の機能に関する研究	東京湾の水環境改善対策の一環として、沿岸部の生物生息環境、自然浄化機能に関する調査研究を行っています。
7	東京都におけるヒートアイランド現象等の実態に関する研究	ヒートアイランド現象等の影響を把握し施策に反映させるため、都内における気温分布や熱環境の実態等に関する調査研究を行っています。



## 活動報告 外部研究評価委員会

東京都環境科学研究所外部研究評価委員会を平成26年6月5日に開催し、平成25年度に実施した研究のうち、終了研究4件の事後評価と、継続研究5件の中間評価を行いました。

研究テーマ	
終了研究	微小粒子状物質等対策の効率的な推進に関する研究
	土壌等におけるダイオキシン類の評価手法に関する研究
	有害化学物質の分析法・環境実態に関する研究
	新たな緑の指標調査
継続研究	高濃度光化学オキシダントの低減対策に関する研究
	浅場・干潟等に形成される生態系の機能に関する研究
	東京都におけるヒートアイランド現象等に関する研究
	自動車の環境対策の評価に関する研究
	資源循環に関する研究



評価は、5名の委員が終了研究、継続研究ごとにABCDの4段階と記述により行います。評価結果報告は、研究所のホームページに掲載しています。

<http://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/>